

読んでみませんか = 中学生のみなさんへ =

宇宙を目指せ!

宇宙ステーションにかけた夢

- 日本初の有人宇宙実験室「きぼう」ができるまで -

渡辺英幸 / 著 くもん出版 [538ワ]

2008年、国際宇宙ステーションに向けて、「きぼう」の打ち上げが始まりました。

その「きぼう」を作った人の一人が、この著者の渡辺さんです。渡辺さんたちが、実験を繰り返して「きぼう」を完成させるまでのエピソードや、「きぼう」の内部の様子や仕組み、宇宙空間ならではの工夫まで、分かりやすく書かれています。



日本の歌を楽しもう!

そこにいますか 日常の短歌 -

(めくってびっくり短歌絵本1)

穂村弘 / 編 西村敏雄 / 絵 岩崎書店 [911ソ]

一回のおシッコにかめいっばい 甕一杯の水すいせんべんじょ 流す水洗便所オソロシ (奥村晃作)

「おはよう」にこた 応えて「おう」と言うようになった生徒を「おう君」と呼ぶ (千葉聡)

など、現代の短歌が、楽しい絵と解説で読めます。

* シリーズに、「サキサキ オノマトペの短歌」、「君になりたい 恋の短歌」、「ぺったんぺったん白鳥がくる」、「納豆の大ドンブリ 家族の短歌」があります。



ハラハラドキドキ～物語を楽しもう～

影との戦い - ゲド戦記 1 -

ル = グウィン / 作 岩波書店 [933ル]



魔法使いの弟子になったゲドは、やがてロークの学院で魔法を学び始める。しかし、教えを破り、魔法で果たし合いをしたことから、「影」に追われる身となる。

「影」を恐れつつ、旅を続けるゲド。やがて、ゲドは、「影」の真の姿を知る。

リー・ボッツの日記 - 走れ、ストライダー -

クリアリー / 作 あかね書房 [933ク]

リー・ボッツは、高校に入る前の夏に日記を書き始めた。きっかけは、犬のストライダーを浜辺でひろい、友人のバリーと共同で飼うと決めたこと。でも、リー・ボッツは、だんだんとストライダーを自分だけの犬おあげんか にしたくなり、バリーと大喧嘩をしてしまう。



狐こてき笛のかなた

上橋菜穂子 / 作 理論社 [913ウ]



小夜さよは、人の思いが聞こえる<聞き耳>の才を持つ。そのため、人里離れた、夜名よなの森の端で育った。ある日、小夜は傷ついた子狐こぎつねをかくまって森の奥深くに入り、従者に守られて暮らす小春丸こはるまるに出会う。しかし、その子狐は、小春丸の命を狙う呪者に放れた<使い魔>で、子狐自身の命もその呪者に握られていた。